

令和 6 年度 第 5 回沖縄県がん診療連携協議会 ベンチマーク部会 議事要旨

開催日時：令和 6 年 9 月 13 日（金）11：00～12：00

場 所：Zoom を利用した Web 会議

出 席：6 名

有賀拓郎（琉球大学病院診療情報管理センター副センター長）、伊佐奈々（琉球大学病院がんセンター診療情報管理士）、埴岡健一（国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科教授）、東尚弘（東京大学公衆衛生学健康医療政策学教授）、山里紘美（沖縄県保健医療介護部健康長寿課主任）増田昌人（琉球大学病院がんセンター長）

欠 席：4 名

天野慎介（全国がん患者団体連合会理事長）、井岡亜希子（まるレディースクリニック院長）、伊藤ゆり（大阪医科大学研究支援センター医療統計室室長准教授）、平田哲生（琉球大学病院診療情報管理センター長）

陪 席：1 名

西佐和子（琉球大学病院がんセンター事務）

【報告事項】

1. 令和 6 年度 第 4 回ベンチマーク部会議事要旨について

増田部会長より、資料 1 に基づき、ベンチマーク部会の議事要旨について説明があった。

2. 今年度の「沖縄県がん登録事業報告」に対する要望について

増田部会長より、資料 2 に基づき、進捗状況について報告があった。

3. 院内がん登録をしている 18 施設が DPC-QI に参加することに対する要望について

増田部会長より、資料 3 に基づき、進捗状況について報告があった。

4. 進捗評価のための 41 市町村へのアンケートについて

増田部会長より、資料 4 に基づき、進捗状況について報告があった。

5. 進捗評価のための施設へのアンケートについて

増田部会長より、資料 5 に基づき、進捗状況について報告があった。

6. その他

増田部会長より、沖縄県がん診療連携協議会主催の『ロジックモデルと指標の活用の仕

方を身につける研修会』について周知があった。

【協議事項】

1. 第4次沖縄県がん対策推進計画（協議会版）の進捗について

増田部会長より、グラフ表示機能付き指標評価ツールの説明があった。

埴岡副部会長より、箱ひげ図（データのばらつき具合を示す統計図）について紹介があった。

2. その他

増田部会長より、今後ベンチマーク部会で行うことについて質問があり、東委員より、18施設がDPC-QIに参加後のフォローアップとして、その結果がどうなったのかについての検証や、入れてもらったものをどう活用するかをベンチマーク部会で検討するのはどうかと提案があった。埴岡委員より、国の動向に関してコア指標を設定する話があると紹介があった。国が指標を絞る方向に進むことについて懸念を示し、沖縄においては計測地点を多く設け、重要な点をしっかり見極めることが重要ということだった。また、国の動向に注意を払いながら、他の専門家の意見を聞き、方針を維持・発展させていければとコメントがあった。

東委員より、第2回医療者調査の解析について、「わからない」回答をどう扱うかが課題であると報告があった。次回の医療者調査では、その点について考えていく必要があるとのことだった。増田部会長より、来年1月から2月にかけて第3回医療者調査を行いたいと提案があった。前回は変則的な選択肢だったため、選択肢の改定については、最初に東委員と個別に意見を交換しながら、たたき台を作成したいとのことだった。12月にアンケートを発送し、来年1月に回答してもらう計画である。